

# 第 59 回 日本体外循環技術医学会 北陸地方会大会 プログラム・抄録集



**大会テーマ：「標準回路を考える」**

**会期：令和 3 年 6 月 20 日（日）**

**大会長 森田 幸浩（日本赤十字社富山赤十字病院）**

後援：

（一社）福井県臨床工学技士会、（一社）石川県臨床工学技士会、（一社）富山県臨床工学技士会

## 御 挨拶

第 59 回日本体外循環技術医学会北陸地方大会

大会長 森田 幸浩

第 59 回日本体外循環技術医学会北陸地方大会を開催するにあたりご挨拶申し上げます。

昨年度開催予定でありました北陸地方大会ですが、新型コロナウイルスという私たちにとりまして全く経験もしない未知のウイルスとの難局に立ち向かうこととなり止む無く開催中止、さらには今年度も感染拡大防止を勘案し、WEB での開催となり会員の皆様には多大なご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。皮肉にも新型コロナウイルス治療の「最後の砦」として、ECMO 治療がマスクミでクローズアップされ、臨床工学技士の名前が報道されると共に、チーム医療を支えるメンバーとして注目される様になったことは複雑な心境ではありますが嬉しく思います。

さて、今大会のテーマを「標準回路を考える」といたしました。唐突ではありますがインダストリアルエンジニアリング (Industrial Engineering : 以下 IE) という言葉を聞かれたことはありますでしょうか。IE とは、生産現場の動作研究を行う技術として生まれた言葉で、生産の 3 要素である「人 (Man)」「設備 (Machine)」「モノ・材料 (Material)」を効果的に統合し、最良の「Q (Quality)」「C (Cost)」「D (Delivery)」いわゆる「良いモノを、安く早く作る」を獲得するための工学的な手法を利用し、「最適な生産システム的设计・改善・構築に関する技術・技法の体系」と定義付けている言葉です。こうした IE は今後の体外循環技術にも通ずるところがあると考えます。医療安全・医療教育の現場で必須とされる標準化や限りある医療資源・財源を含め、標準回路を考慮した体外循環技術は多角的視点で肝要になると考え今大会で議論したく存じます。

教育講演 I では富山大学附属病院麻酔科助教 伊東久勝先生より『人工心肺を用いた心臓手術における麻酔科医の役割』と題しましてご講演いただきます。また、教育講演 II では帝京大学医学部附属病院 ME 部、日本体外循環医学会材料・標準化委員会委員長 赤地主先生より『人工心肺標準化回路作製に向けての取り組み』と題しましてご講演いただきます。一般演題では各施設の貴重な症例やご経験を発表していただきありがとうございます。

最後になりますが、今大会を開催するにあたりご支援・ご協力頂きました関係各位の皆様にお礼を申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻いただきますようよろしくお願い申し上げます。

## 教育講演 I

### 『人工心肺を用いた心臓手術における麻酔科医の役割』

富山大学附属病院 麻酔科 助教

伊東 久勝

心臓手術では、麻酔科医の役割として全身麻酔だけではなく、循環動態の管理が重要になります。おそらく循環動態の管理についても含めた方が臨床工学技士の方々にとって興味をもっていただけるのではないかと思います。そこで今回のタイトルは「人工心肺を用いた心臓手術における麻酔科医の役割」というタイトルで講演させていただければと思います。

## 教育講演 II

### 『人工心肺標準化回路作製に向けての取り組み』

帝京大学医学部附属病院 ME 部  
日本体外循環技術医学会 材料・標準化委員長  
赤地 吏

2007 年、人工心肺装置の標準的接続方法およびそれに応じた安全教育等に関するガイドラインが発行されてから、人工心肺回路の標準化に向けた話が出始めました。そこから約 10 年後に学会の中で、材料・標準化委員が設置され本格的に人工心肺の臨床使用での標準化回路の作成が始まりました。調べてみると、メーカー毎に基本回路というものがあるが、実際は施設毎の回路になっており、ほとんど使用されることがなかったのが実状であります。各メーカーが統一した基本回路(標準化回路)を作成することで、メーカー毎に違う基本回路、施設毎の人工心肺回路になっているものをシンプルに誰が見てもわかりやすい回路を目指し、標準化回路を作成することが望ましいと考えています。今回の講演では、標準化回路の特徴と回路図を説明して今回の標準化回路の理解を深めてもらえればと思います。

## プログラム

◇12:30 ~ 13:00 大会受付

◇13:00 ~ 13:05 開会の挨拶 大会長 森田 幸浩

◇13:05 ~ 13:55 一般演題

座長：米田 一貴（富山県立中央病院）

窪池 真希子（厚生連高岡病院）

1. 演題1『新型人工心肺装置の使用経験』

富山大学附属病院 医療機器管理センター 齋藤 昭広

2. 演題2『長期にわたる CentralECMO の管理経験と体外循環認定士の関わり』

富山大学附属病院 医療機器管理センター 吉田 麻利

3. 演題3『急性肺血栓塞栓症に対し体外循環を行い循環停止併用下で救命し得た1例』

金沢医科大学病院 医療技術部 医療機器管理部門 村山 嘉史

◇13:55 ~ 14:00 休憩

◇14:00 ~ 14:55 教育講演 I

『人工心肺を用いた心臓手術における麻酔科医の役割』

富山大学附属病院 麻酔科助教 伊東 久勝先生

司会：富山大学附属病院 医療機器管理センター 嶋岡 健志

◇14:55 ~ 15:00 休憩

◇15:00 ~ 15:50 教育講演 II

『人工心肺標準化回路作製に向けての取り組み』

帝京大学医学部附属病院 ME 部

日本体外循環医学会 材料・標準化委員会委員長

赤地 吏先生

司会：富山赤十字病院 森田 幸浩

「第60回日本体外循環技術医学会北陸地方会大会開催のご案内」

要田 宏樹（第60回日本体外循環技術医学会北陸地方会大会 大会長）

閉会

閉会挨拶

日本体外循環医学会北陸地方会 代表幹事 嶋岡 健志

「

## 協賛企業一覧

エア・ウォーター・リンク株式会社

株式会社エムテック

株式会社 JMS

株式会社ハイメック

泉工医科工業株式会社

テクノウッド株式会社

テルモ株式会社

平和物産株式会社

有限会社メディカルフィール

(五十音順)